



♥総合事業ってな～に？

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で、いつまでも生き生きと自立した生活を送れるよう、地域全体で支えるとともに、介護予防の取り組みを、より一層進めることを目的とした事業です。

今までどおりのサービス（現行相当サービス）に加え、高浜市独自でサービスの基準を定めることで、多様なサービスが提供可能となりました。

具体的には、「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」が総合事業に移行しました。今までよりサービスの選択肢が増えて、一人ひとりの生活や状況に合わせて利用できます。

総合事業は、介護保険を申請しなくても「基本チェックリスト」の25項目に回答していただき「事業対象者」の基準に該当すれば総合事業のサービスが利用できます。（要支援認定の手続きの簡素化）

「基本チェックリスト」の実施は、いきいき広場の地域包括支援センターで行っていますので、気軽に相談してください。

● 10月・11月事業案内 ●

とき	タイトル	ところ	問合せ先
11月19日(日) 13:00～15:00	昭和で元気になるカフェ (認知症カフェ)	いきいき広場2階ホール	昭和で元気になる会事務局 ☎52-5050
毎週日曜日 9:00～11:00 ※行事によって変更になる場合があります	よってこカフェ (認知症カフェ)	地域共生型福祉施設あっぱ	地域共生型福祉施設あっぱ ☎56-2725
10月19日(木) 11月16日(木) 13:30～15:00	認知症高齢者を介護する 家族の会	いきいき広場1階会議室B	地域包括支援センター ☎52-9610

問合せ先 いきいき広場内地域包括支援センター（福祉まると相談グループ） ☎52-9610

長引く咳は“結核”かも!? 年1回は胸部X線検査を受けましょう



結核予防キャラクター
シールぼうや

衣浦東部保健所管内では、平成28年に新たに97人が結核と診断されました。そのうちの半数以上は70歳以上の高齢者でした。

高齢者に結核が多いのは、若いころに感染した結核菌が、加齢による体力の衰えや免疫力の低下をきっかけに、活動を始めてしまうからだといわれています。

一方で、働きざかりの世代での発病も依然多くあり、油断は禁物です。結核を予防し、早期発見するためのポイントを紹介します。

- ・ 2週間以上の咳や痰などの症状が続くときにはかならず病院を受診しましょう。
- ・ 年1回は職場健診や住民検診などで胸部X線検査を受けましょう。
- ・ バランスのとれた食事、十分な睡眠、適度な運動など、規則正しい生活を心がけましょう。
- ・ 乳児には結核の予防接種（BCG）があります。市の案内に従って1歳までに受けましょう。

衣浦東部保健所では結核に関する相談・支援をしています。心配のある方は気軽に問い合わせてください。

問合せ先 衣浦東部保健所 健康支援課 地域保健グループ ☎21-9338